

3.4.1 一括受発注操作手順

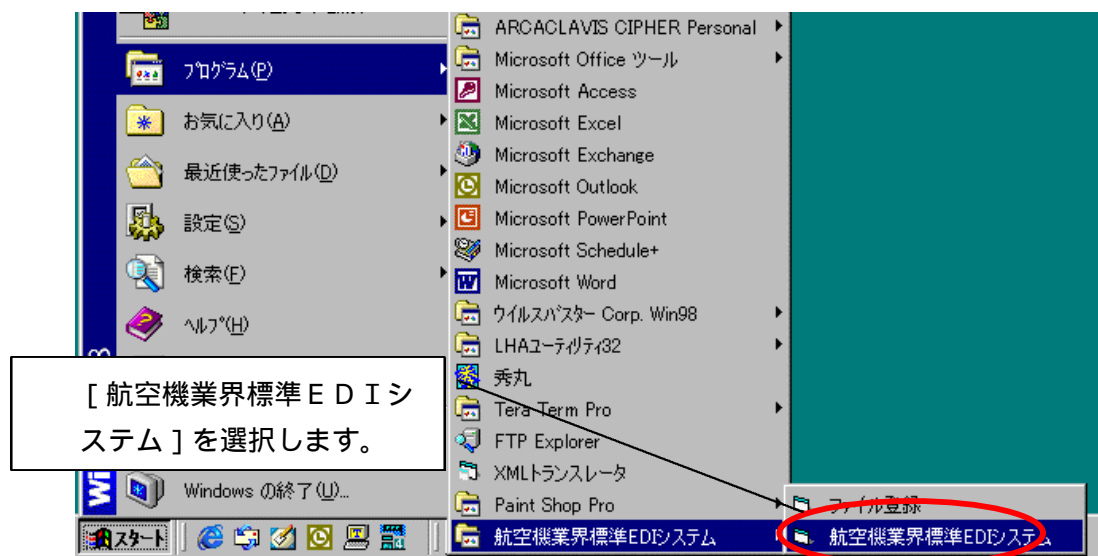
ここでは、受注側クライアント機能を利用した一括受発注業務の手順について説明します。

また、エラー時の対処方法、障害対策についても説明します。

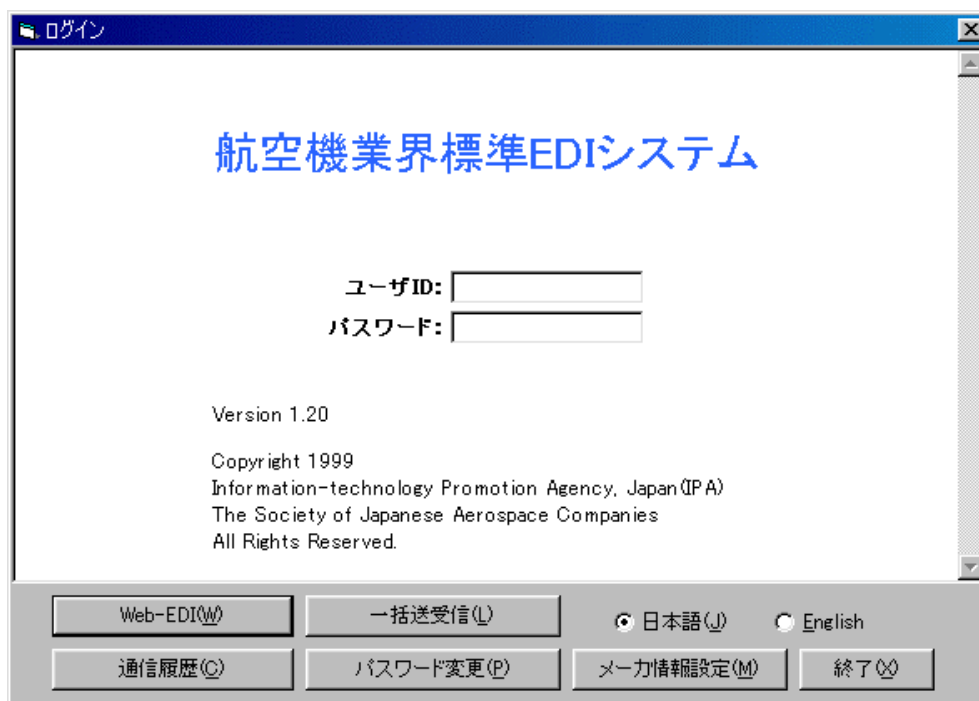
- ・ システムの起動・終了 (1)参照
- ・ システムへのログイン (2)参照
- ・ 自動一括送受信 (3)参照
- ・ 一括送受信設定 (4)参照
- ・ 手動一括送受信 (5)参照
- ・ 再受信 (6)参照
- ・ エラー対処方法 (7)参照
- ・ 障害対策 (8)参照

(A) システムを起動します。

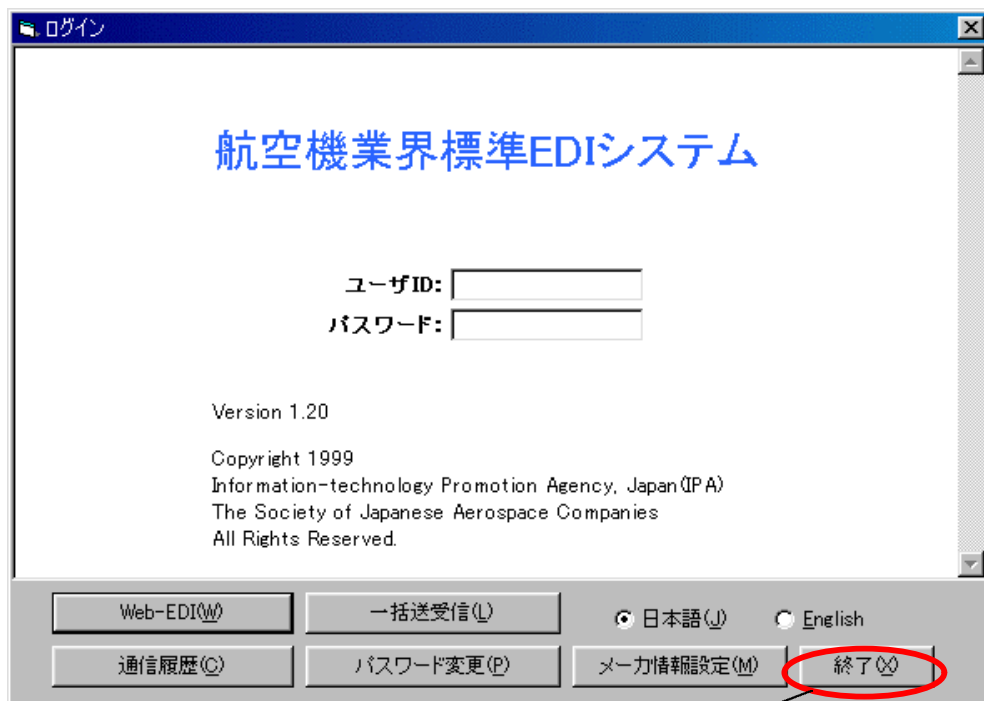
(a) Windowsの[スタート]メニューから[プログラム] [航空機業界標準EDIシステム] [航空機業界標準EDIシステム]を実行します。



(b) 起動に成功すると、以下の「ログイン画面」が表示されます。



(B) システムを終了します。



[終了] ボタンをクリック
します。

(A) システムにログインし、一括送受信処理を起動します。

<注意>

初回起動時のユーザIDとパスワードは“edi”に設定されています。
ユーザIDとパスワードの変更手順は、3.3.4 クライアント情報管理手順を参照して下さい。

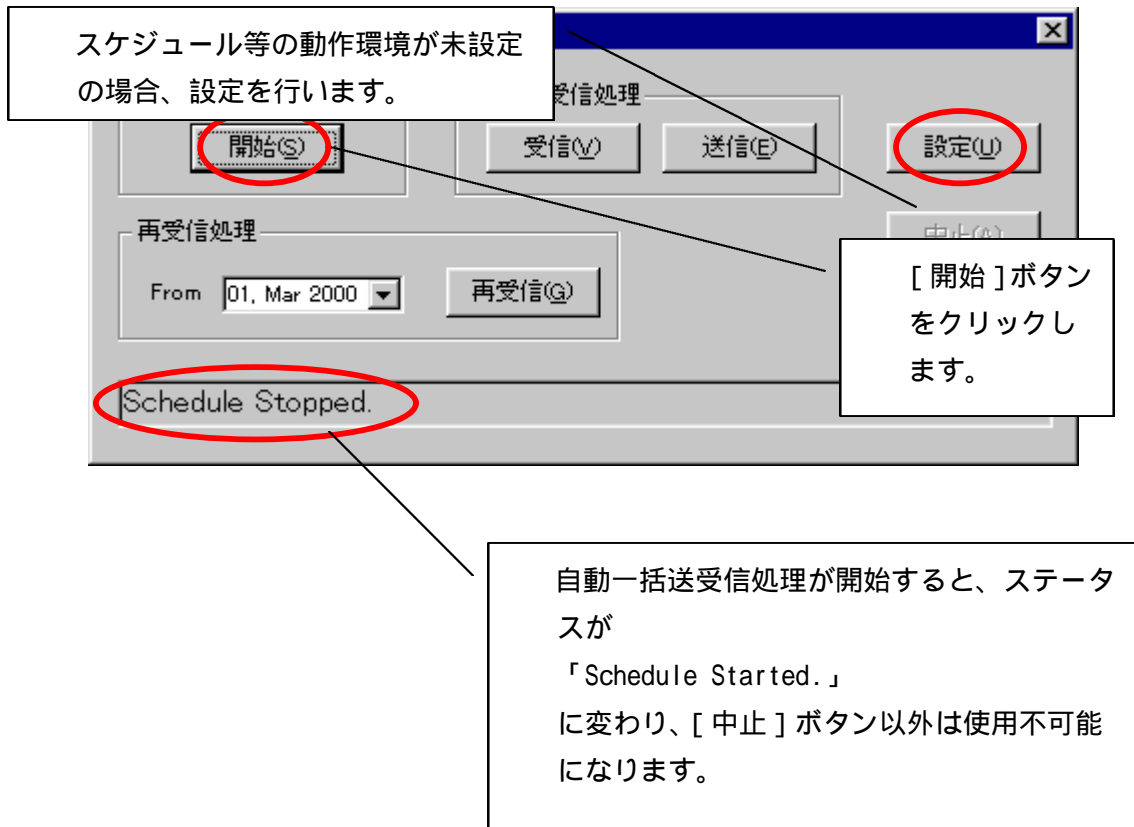
<補足>

起動時にユーザ認証が行われますので、正しいユーザIDとパスワードを入力しないと処理を起動できません。

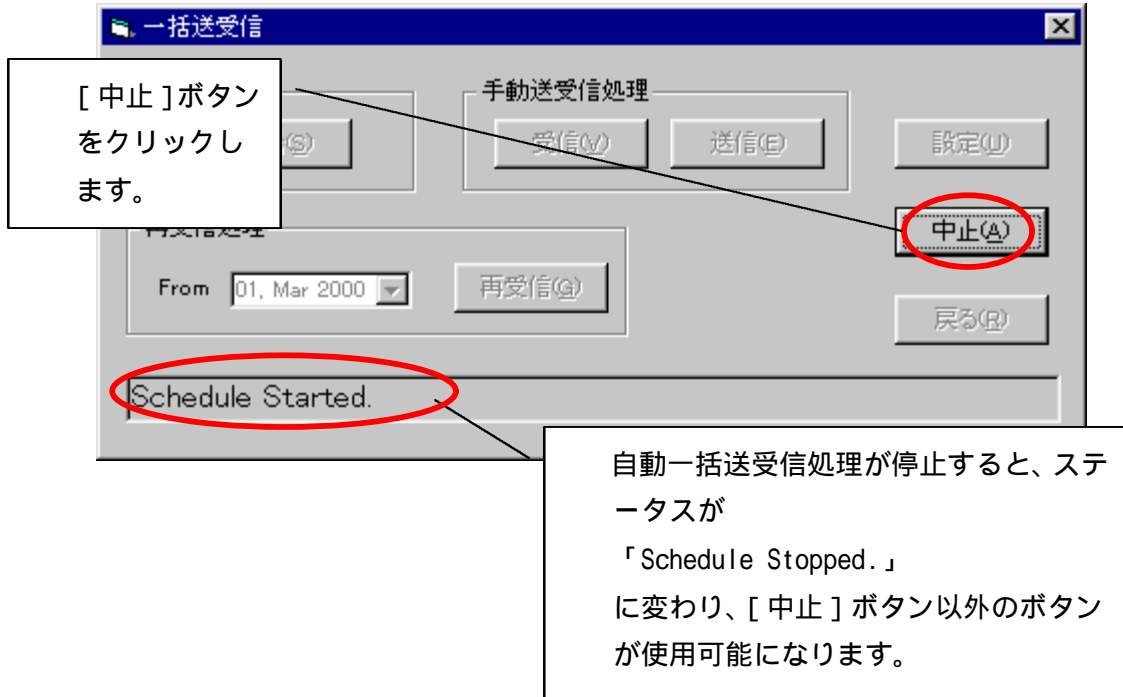
(A) 自動一括送受信処理を実行すると、あらかじめ設定されたスケジュールに従い、自動的にデータが一括送受信されます。スケジュール設定についての詳細は、(4) 一括送受信設定手順を参照して下さい。

(a) 「ログイン画面」より [一括送受信] ボタンをクリックすると、以下の「一括送受信画面」が表示されます。

(b) 自動一括送受信処理を開始します。



(c) 以下の操作により、自動一括送受信処理が停止します。



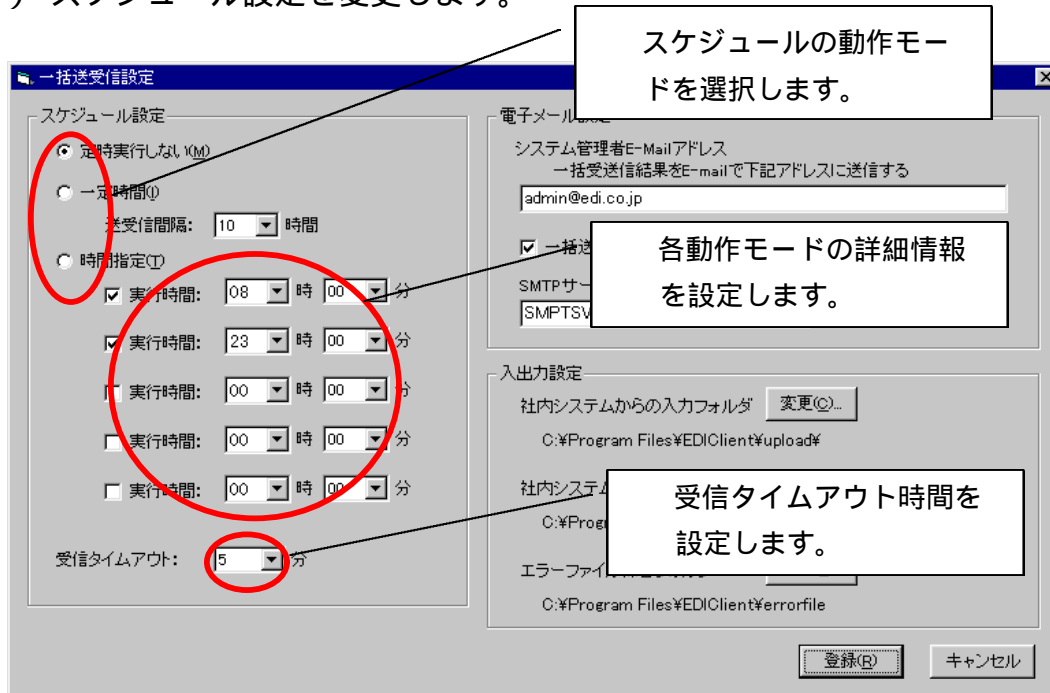
<注意>

送受信処理中は [中止] ボタンをクリックしても、すぐに処理が中止されない場合があります。画面上ではクリックされていないように見えますが、処理は正常に稼動していますので、中止確認メッセージが画面に表示されるまでしばらくお待ちください。

また、送受信処理中はコンピュータに大きな負荷がかかりますので、他のアプリケーションを実行しないで下さい。画面表示が乱れる可能性があります。

(A) 一括送受信動作環境を設定します。

(a) スケジュール設定を変更します。



<注意>

受信タイムアウト時間は、一括に限らずEDIサーバとのデータ送受信処理全般の設定となります。タイムアウトエラーが多発する場合は、受信タイムアウト時間値を増やして下さい。

また、受信タイムアウト時間を変更した場合は、必ずWindowsを再起動して下さい。再起動をしないと、変更内容が反映されません。

<補足>

時間指定の場合、実行時間の左側のチェックをOFFにすると、指定時間になっても送受信処理は実行されません。

(b) 電子メール設定を変更します。

システム管理者の電子メールアドレスを入力します。

送受信正常終了時にも管理者にメールを送信する場合、チェックをONにします。

SMTPサーバ名を入力します。

<注意>

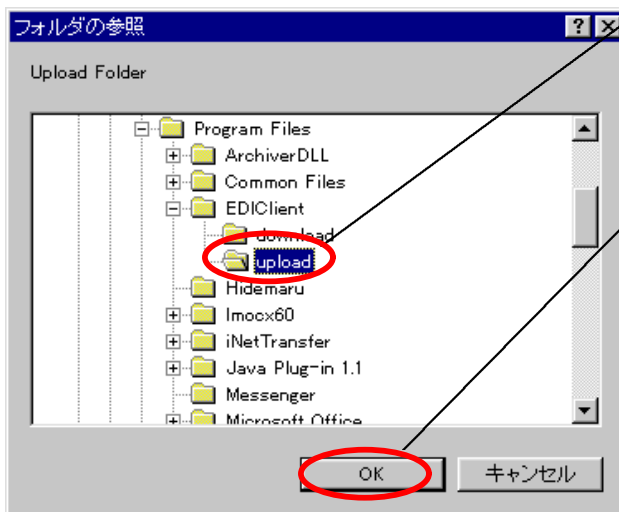
電子メールアドレスとSMTPサーバ名が未入力または入りに誤りがある場合、電子メールは管理者に送信されません。

(c) 社内システムとのインターフェース用フォルダの設定を変更します。(社内システムからの入力フォルダの場合)

[変更]ボタンをクリックします。



[+] をクリックして、社内システムからの入力フォルダへ移動します。



フォルダ名をクリックします。

[OK] ボタンをクリックします。

<補足>
設定を変更しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

<補足>
社内システムへの出力フォルダ (E D I サーバから受信したデータを保管するフォルダ) 及びエラーファイル保管フォルダの変更も同様の手順で設定して下さい。

<補足>
E D I サーバから受信した E D I データファイルは、
SessionID-情報区分コード-E D I サーバコード-受注者コード.xml
というファイル名で保存されます。
SessionIDは、E D I サーバが通信セッション毎に割り当てるIDです。

(C) 一括送受信動作環境を登録します。

一括送受信設定

スケジュール設定

- 定時実行しない(M)
- 一定時間(Q)
送受信間隔: 10 時間
- 時間指定(T)
 - 実行時間: 08 時 00 分
 - 実行時間: 23 時 00 分
 - 実行時間: 00 時 00 分
 - 実行時間: 00 時 00 分
 - 実行時間: 00 時 00 分

受信タイムアウト: 5 分

電子メール設定

システム管理者E-Mailアドレス
一括送受信結果をE-mailで下記アドレスに送信する
admin@edi.co.jp

一括送受信が正常終了した場合にも管理者にメールを送信する(S)

SMTPサーバ名
SMTPSV

入出力設定

社内システムからの入力フォルダ 変更(O)...
C:\Program Files\EDIClient\upload

社内システムへの出力フォルダ 変更(H)...
C:\Program Files\EDIClient\download

エラーファイル保管フォルダ 変更(E)...
C:\Program Files\EDIClient\errorfile

登録(R) キャンセル

[登録]ボタンをクリックします。

<補足>

変更内容を登録しないで前画面に戻るには、[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。

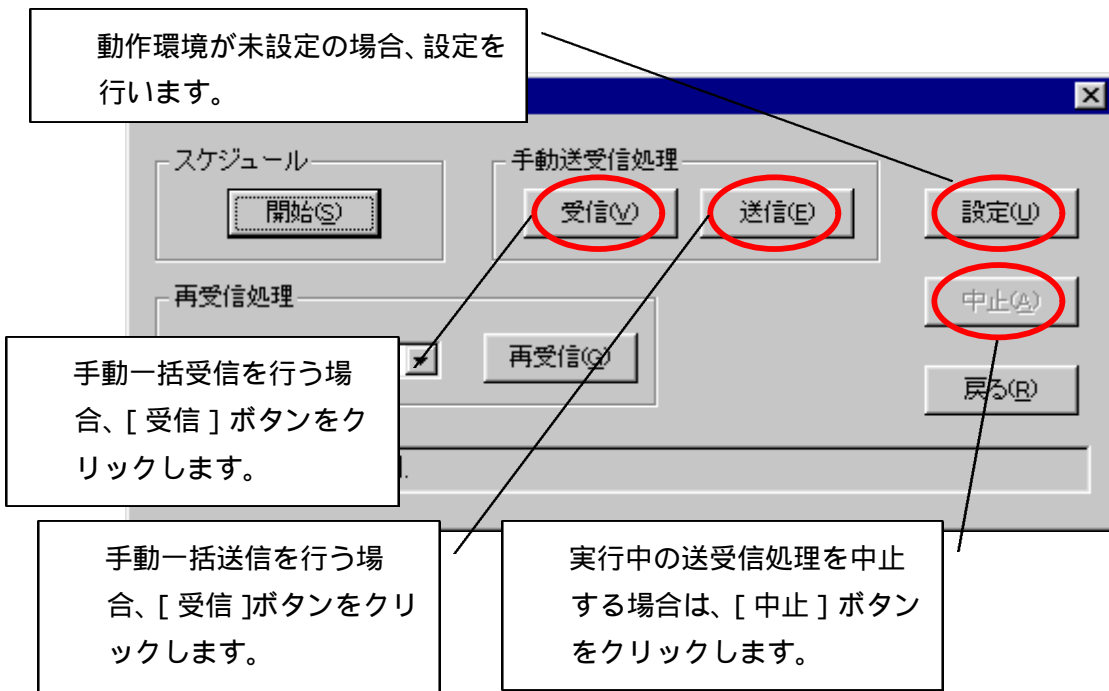
<補足>

各業務毎に一括処理区分を登録するには、3.3.2 メーカー情報管理手順を参照して下さい。

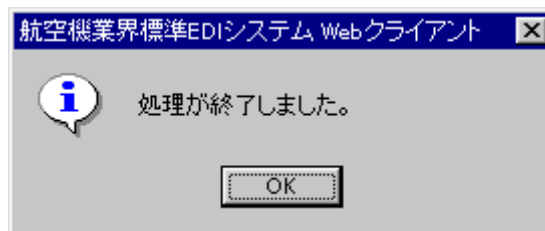
<補足>

社内システムとの連携に関する詳細は、4.3.3 社内システムとのインターフェイスを参照して下さい。

- (A) 手動一括送受信は、ユーザがボタンをクリックすることにより、一括受信処理・一括送信処理を実行することができます。
- (a) 「ログイン画面」より[一括送受信]ボタンをクリックすると、以下の「一括送受信画面」が表示されます。
- (b) 各ボタンより、手動で一括送受信処理を行います。



- (c) 手動送受信処理が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



<注意>

送受信処理中は[中止]ボタンをクリックしても、すぐに処理が中止されない場合があります。画面上ではクリックされていないように見えますが、処理は正常に稼働していますので、中止確認メッセージが画面に表示されるまでしばらくお待ちください。

また、送受信処理中はコンピュータに大きな負荷がかかりますので、他のアプリケーションを実行しないで下さい。画面表示が乱れる可能性があります。

(A) 既に取得済みであるデータの再受信を行います。

(a) 「ログイン画面」より[一括送受信]ボタンをクリックすると、以下の「一括送受信画面」が表示されます。

(b) 再受信処理を行います。

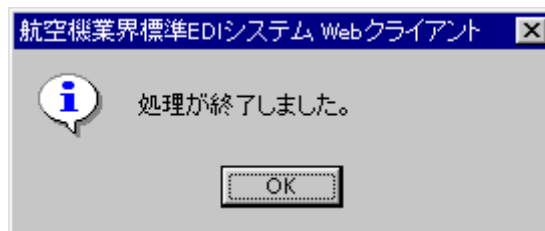
動作環境が未設定の場合、設定を行います。



再受信データの日付を指定します。指定日以降に受信した全てのデータが再受信されます。

実行中の再受信処理を中止する場合は、[中止]ボタンをクリックします。

(c) 再受信処理が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



<注意>

再受信処理中は[中止]ボタンをクリックしても、すぐに処理が中止されない場合があります。画面上ではクリックされていないように見えますが、処理は正常に稼働していますので、中止確認メッセージが画面に表示されるまでしばらくお待ちください。

また、再受信処理中はコンピュータに大きな負荷がかかりますので、他のアプリケーションを実行しないで下さい。画面表示が乱れる可能性があります。

(7) エラー時の対処方法

ここでは、エラー時の対処方法について説明します。

(A) 画面上にメッセージとして表示されるエラー

表 3.4.1-1 エラー一覧

No.	エラー内容 (エラーコード)	対処方法
1	スケジュールを開始できません。設定情報を確認してください。(5001)	「一括送受信設定画面」で、スケジュール設定を一定時間または時間指定に変更して下さい。
2	処理中にエラーが発生しました。(5002)	エラーの内容は電子メールで管理者に通知されます。詳細については、表 3.4.1-2 エラー一覧を確認して下さい。
3	設定情報の保存に失敗しました。(5004)	クライアント情報ファイル及びメーカ情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については「4.3.2 使用環境設定」を参照してください。
4	予期しないエラーが発生しました。(0099) Error Code: エラーコード	サポート窓口へ連絡し、 ・使用中の画面名 ・予期しないエラーが発生したこと ・エラーコード を伝えてください。

(B) 電子メールで通知されるエラー

送受信処理中にエラーが発生した場合、以下のメッセージが電子メールで通知されます。

送信エラーとなったファイルは、エラーファイル保管フォルダに保管されます。

表 3 . 4 . 1 - 2 エラー一覧

No .	エラー内容	対処方法
1	ファイル名 :Error! XML Parse Error.	XMLデータ構造に誤りがあります。該当するDTD及びデータの内容を確認して下さい。
2	ファイル名 :Error! DTD Not Defined.	DTDの定義がされていないXMLファイルです。DTDの定義を追加して下さい。
3	ファイル名:Error! MGH Not Found.	データにメッセージグループヘッダがありません。メッセージグループヘッダを追加して下さい。
4	ファイル名:Error! Information-code Invalid.	メッセージグループヘッダの情報区分コードが適切ではありません。情報区分コードを確認して下さい。
5	ファイル名:Error! Key Item <XXXX> Empty.	XXXXのキー項目に値が入力されていません。キー項目に値を入力して下さい。
6	ファイル名:Error! Supplier-code Differed.	メッセージグループヘッダの送信者コードとデータに含まれる受注者コードが異なっています。データの内容を確認して下さい。
7	ファイル名:Error! Tag <JPTRM> Not Found	データにJPTRMがありません。データの内容を確認して下さい。
8	ファイル名:Error! Certification Key Not Found In Maker Information File.	送信先の認証キーがシステムに登録されているかどうか確認して下さい。認証キーが登録されている場合、メッセージグループヘッダの受信者コードと送信者コードに誤りがないか確認して下さい。
9	Error! GetSupplierCode With Key 認証キー Failed. Error Code: エラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C”で始まる場合、表 3 . 4 . 1 - 3 を参照してください。

1 0	ファイル名:Error! Upload Failed. Error Code:エラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
1 1	ファイル名:Unexpected Error In Module “Upload”. Error Code:エラ ーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
1 2	Upload Data Not Found.	送信ファイルが1件もない場合 に出力されます。
1 3	Upload Canceled.	ユーザ手動により、送信処理が中 止されました。
1 4	ファイル名:Error! Add MGH and DTD Failed.	E D Iサーバから受信したファ イルが壊れている可能性があります。再度受信処理を実行してく ださい。
1 5	ファイル名:Error! File Download Failed. Error Code:エラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
1 6	情報区分コード:Error! File Download Failed. Error Code:エラ ーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
1 7	ファイル名:Unexpected Error In Module “Download”. Error Code:エ ラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
1 8	Download Canceled.	ユーザ手動により、受信処理が中 止されました。
1 9	情報区分コード:No EDI Data.	E D Iサーバに、取得するデー タが1件も存在しない場合に出力 されます。
2 0	ReGet With Key 認証キー :Error! FileList Download Failed. Error Code:エラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
2 1	ReGet With Key 認証キー :Error! FileList Download Failed. Error Code:エラーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
2 2	ファイル名:Unexpected Error In Module “ReGet”. Error Code:エラ ーコード	エラーコードが“T”もしくは“C” で始まる場合、表3.4.1-3 を参照してください。
2 3	ReGet Canceled.	ユーザ手動により、受信処理が中 止されました。
2 4	ReGet With Key 認証キー : No EDI Data.	E D Iサーバに、再取得するデー タが1件も存在しない場合に出力 されます。

(C) 通信ログファイルに出力されるエラー

ここでは、通信ログファイルに出力されているエラー内容、対処方法を説明します。

「ネットワークエラーが発生しました。詳細については通信履歴を確認してください」というエラーメッセージが表示された場合、以下の手順で復旧作業を実施します。

(a) 通信履歴画面を表示する

「3.3.3 履歴管理手順」に従い、エラーが発生した日の通信履歴を表示します。

(b) 通信履歴よりエラーコードを調べます。

The screenshot shows a window titled '通信履歴' (Communication History) with a table of logs. The table has columns for '日付' (Date), '時間' (Time), 'エラーコード' (Error Code), 'サーバコード' (Server Code), '通信/受信' (Communication/Receive), and '情報区分' (Information Category). The 'エラーコード' column contains values like 'T1002(12152)', 'T0000', and 'C0000'. A callout box points to the 'T1002(12152)' entry, and another callout box points to a 'T0000' entry.

エラーコードがT0000、C0000 以外のとき、通信処理においてエラーが発生したことを表しています。

T0000 または C0000 は正常に通信処理が完了したことを表しています。

通信ログファイルのエラーコード列には、Tnnnn(mmmmm)もしくはCnnnnの形式でエラーの種類に応じたエラーコードが表示されます。

エラーコード：T0000、C0000は、通信処理が正常に完了したことを表します。

(D) 以下に通信エラー時のエラー内容と対処方法を示します。

表 3 . 4 . 1 - 3 通信エラー一覧

No	エラー内容 (エラーコード)	対処方法
1	WWWサーバ名を解決できない。(T1001)	クライアント認証キーを再登録する。
2	WWWサーバに接続できない。 (T1002)	PCのネットワーク設定を調査し、当該EDIサーバに接続できるかを確認します。 接続確認には、インターネットエクスプローラにてEDIサーバのURLを表示できるかを確認すると良いでしょう。 PCのネットワーク設定に問題が無い場合、EDIサーバが非常に混雑している可能性があります。 しばらくたってから、業務を再開してください。 インターネットエクスプローラにてEDIサーバに接続できない場合、ネットワーク管理者に連絡してください。
3	WWWサーバの応答を解析できない。(T1003)	EDIサーバのインターネット配信機能(Webサーバ)がダウンしている可能性が高いです。 しばらくしてから、業務を再開してください。 それでも同一のエラーが出る場合は、サーバ管理者に連絡をとってEDIサーバの状況を確認してください。
4	受信データをデコードできない。(T1004)	通信回線の状態が悪く、データ伝送エラーが発生していることが想定されます。 しばらくしてから業務を再開してください。
5	レスポンスヘッダーからファイル名が取得できない。 (T1005)	
6	受信データ保存処理中にエラーが発生(T1006)	PCのディスクの空き領域を確認してください。 空き領域が十分(200MB程度以上)の場合、プログラムの稼動に必要な設定ファイルが壊れている可能性があります。 航空機業界標準EDIシステム FAX受発注機能をアンインストールしてから、再度インストールしてください。
7	受信確認データ処理中にエラーが発生(T1007)	

8	接続タイムアウトエラー (T1009)	ネットワークケーブルが外れていないか？ を確認してください。 そうでない場合は、EDIサーバがダウンしているか、EDIサーバが非常に混雑している可能性があります。 しばらくしてから業務を再開してください。
9	サーバ証明書がインストールされていない。(T2001)	サーバ証明書をインストールしてください。
10	サーバ証明書の有効期限が切れている (T2002)	
11	サーバ証明書の名前が正しくない (T2003)	
12	予期しないネットワークエラー (T9999)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：T9999 (mmmmm) のmmmmmの部分のコード を通知してください。
13	サーバ環境設定ファイルのIOException (C0010)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
14	サーバ環境設定ファイルが見つからない (C0011)	
15	サーバ環境設定ファイルの内容不全 (C0012)	
16	サーバ環境設定ファイルより返された位置にEDIマスタディレクトリが見つからない (C0013)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
17	サーバ環境設定ファイルより返された位置にセッション作業用ディレクトリが見つからない (C0014)	
18	サーバ環境設定ファイルより返された位置に送信データ用ディレクトリが見つからない (C0015)	
19	サーバ環境設定ファイルより返された位置に送信履歴データ用ディレクトリが見つからない (C0016)	

20	サーバ環境設定ファイルより返された位置に回答データ用ディレクトリが見つからない (C0017)	
21	サーバ環境設定ファイルより返された位置に回答履歴データ用ディレクトリが見つからない (C0018)	
22	サーバ環境設定ファイルより返された位置にサブレット関連ドキュメント用ディレクトリが見つからない (C0021)	
23	サーバ環境設定ファイルより返された位置にメーカー情報ディレクトリが見つからない (C0021)	
24	リクエストメッセージのデータ完全性チェックNG (C0100)	
25	リクエストメッセージの内容不全 (C0111)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
26	認証キーが設定されていない (C0201)	
27	認証キーが不正である (C0202)	正しいクライアント認証キーを登録し、業務を再開してください。 それでも同一のエラーが出る場合は、サポート窓口まで連絡してください。
28	情報区分が取り扱えないか不正である (C0203)	取り扱い対象の情報区分を、一括送受信設定画面にて設定後に再実行してください。 それでも同一のエラーが出る場合は、サポート窓口まで連絡してください。
29	E D I データ送込みメソッドにおいて予期しないエラーが発生 (C0400)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
30	E D I データ送込みメソッドにおいてIOExceptionが発生 (C0401)	
31	E D I データ送込みメソッドにおいてE D I データの内容不全 (C0402)	
32	E D I データ送込みメソッドにおいて検索結果が0件 (C0403)	

33	E D I データ送込みメソッドにおいてインデックスファイルが見つからない (C0404)	
34	E D I データ送込みメソッドにおいて送信履歴テンプレートXMLファイルが見つからない (C0405)	
35	E D I データ送込みメソッドにおいて送信履歴テンプレートXMLファイルの内容不全 (C0406)	
36	E D I データ取込みメソッドにおいて予期しないエラーが発生 (C0600)	<p>業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm <p>を通知してください。</p>
37	E D I データ取込みメソッドにおいてIOExceptionが発生 (C0601)	
38	E D I データ取込みメソッドにおいて回答履歴テンプレートXMLファイルが見つからない (C0602)	
39	E D I データ取込みメソッドにおいて回答履歴テンプレートXMLファイルの内容不全 (C0603)	
40	E D I データ取込みメソッドにおいて回答データXMLファイルの内容不全 (C0604)	
41	データ取得確認情報取込みメソッドにて予期しないエラーが発生 (C0800)	
42	データ取得確認情報取込みメソッドにおいてIOExceptionが発生 (C0801)	
43	データ取得確認情報取込みメソッドにおいてコミット対象ファイルが見つからない (C0802)	
44	E D I データ再送込みメソッドにおいて予期しないエラーが発生 (C0900)	

45	E D I データ再送込みメソッドにおいて IOException が発生 (C0901)	
47	サーバ障害発生 (C9999)	<p>業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm <p>を通知してください。</p>

(8) 障害対策

障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れを、図 3 . 4 . 1 - 1 に示します。

尚、技術サポートの詳細問い合わせ先は、E D I 取引契約時に発注会社が示す窓口、若しくは、航空機業界 E D I センターにより示される窓口となります。

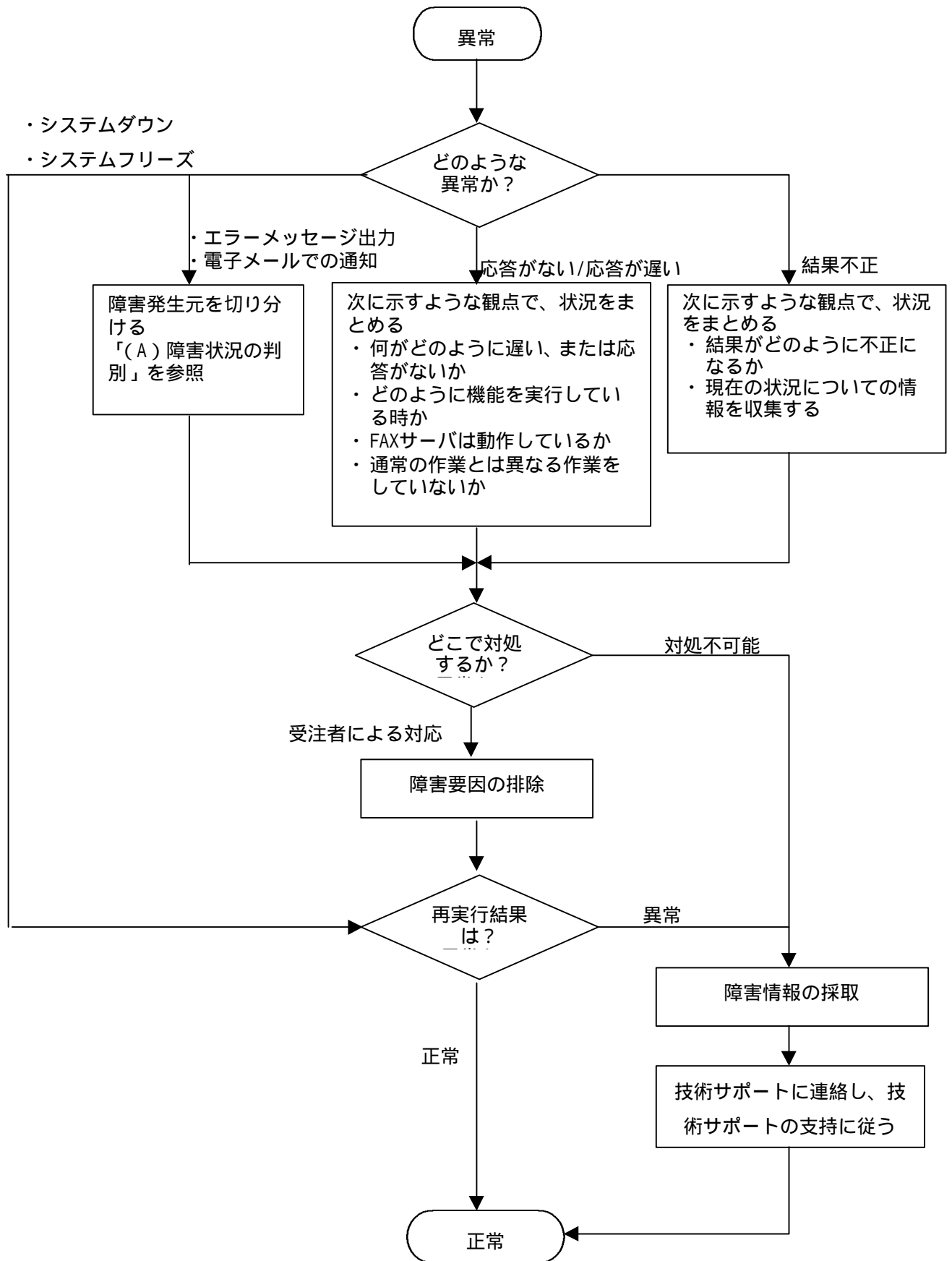


図3.4.1-1 障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れ

(A) 障害状況の判別

(a) どのような障害が発生したかを把握する為に、障害発生時のメッセージを確認します。

また、表 3.4.1 - 1 ~ 3 エラー一覧のエラー内容から該当するエラー内容を確認します。

(b) 障害の診断

(ア) 障害発生状況と出力されているメッセージを確認します。また、電子メールが送信されている場合は、電子メールの内容を確認します。

(イ) 障害要因による診断

メッセージが示す障害の要因は、以下の3つに分類されます。

- ・ ユーザが対処できる障害要因

操作方法、環境設定、および、運用の誤りによるもので、ユーザが直接に要因を排除可能です。

- ・ ユーザが対処できない障害要因

ユーザは障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。

- ・ 障害要因が判断できない障害

突然システムがダウンした場合などは、再度、同一操作を実施し、再現する場合は、障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。

(B) 障害要因の排除

表 3.4.1 - 1 ~ 3 エラー一覧の対処方法に従い、障害の対処を実施し、再実行します。

エラー時の対処法でも復旧しない場合は、コンピュータを再起動して、業務を再開します。

コンピュータの再起動でも復旧しない場合は、航空機業界標準 EDI システムプログラムをアンインストールしてから、再度インストールを実施します。

それでも、同様の障害が発生する場合は、障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。

(C) 障害情報の採取

再実行を実施しても同様の障害が発生した場合は、サポートに連絡する為に障害情報を採取します。

採取する障害情報を以下に示します。

(a) 操作手順

障害発生に至るまでの詳細は操作手順（画面のハードコピー、操作内容のメモ、入力した内容など）

(b) 出力メッセージ

画面上に出力されるメッセージの内容

(c) 通信履歴

通信エラーが発生している場合は、通信履歴画面のハードコピー。

(d) 電子メールの内容

送信された電子メールの内容

(D) その他の障害対策

- ・スケジュール処理が指定時間通りに実行されない場合は、Windows に設定されている時刻が正しいかどうか確認してください。
- ・電子メールの設定を正しく行っているにもかかわらず、電子メールが送信されない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。